

## 今季初！ 島根県で死亡野鳥から 高病原性鳥インフルエンザウイルス検出

11月9日に環境省から、5日に島根県松江市で回収された死亡野鳥（コブハクチョウ）1羽から、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されたとの発表がありました。

また、農林水産省から平成28年度の高病原性鳥インフルエンザ発生に関する疫学調査結果が公表されています。

### 〈 疫学調査結果のポイント・侵入経路 〉

野鳥等やそのふんによって発生農場周辺の環境中に多くのウイルスが存在していて、それが、

- ① ねずみ等の野生動物によって、
- ② 家きん舎に入る人の手指や衣服、靴底に付着して、家きん舎内に持ち込まれた可能性が考えられました。



## 以下の点を要チェック！

- ※鶏舎の壁や金網に破損があればすぐ修理！
- ※農場・鶏舎に入る時は手指の洗浄・靴の消毒！
- ※農場専用の衣服・各家きん舎専用の靴を準備！

\* 今後も道内野鳥等で高病原性鳥インフルエンザが確認されたときには随時情報提供を行っていきます。

異常家きんを発見したら、すぐに家畜保健衛生所に連絡を！

北海道上川家畜保健衛生所

TEL：0166-57-2232 FAX：0166-57-7626